



自分から行動する2学期に～「あいさつ」と「相談」から！

高台小学校 校長 玉井 一行

30日間の夏休みを終え、熱中症や感染症、交通事故など多くの危険を乗り越えて、元気よく登校した高台っ子の姿を見て安心しました。

この夏休みは、これまで旭川では経験したことがないとても暑い日が続きました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、旅行に出掛けたり、多くの親戚や友人と一緒に集まって、会食や会話することができなかった人も多かったことでしょう。けれども、久しぶりの学校で、元気な友人や教職員と会えたことで、安心した高台っ子も多いと思います。お互いに気持ちの良い挨拶を交わしたことで、2学期も頑張ろうという気持ちになれた人が多くいたはずですよ。「人とのよいかかわり」は、楽しく生活するために、これからを豊かに過ごしていくために、とても大切なことです。

さて、夏休み中に開催された東京オリンピックは無観客開催となりましたが、テレビで応援して多くの選手が頑張る姿から、大きな希望や夢、幸せを感じることができました。実に多くの競技の種類があり、世界中から様々な人たちが、より強く、速く、たくましく、美しく、協力する、その高みを目指して一生懸命な姿から、たくさんの元気や希望をいただきました。また、人と人とのつながりを感じる場面も多くありました。24日から始まるパラリンピックも楽しみです。

次に、今日から始まる2学期に、高台っ子が意識して過ごして欲しいことです。新型コロナウイルス感染症は、北海道でもどんどん感染する人が増えてきています。感染症拡大防止の対策がさらに継続することで、大人も子どもも心配や不安がたくさん増えています。このような時こそ、大切なのは人と人との関わり合い「コミュニケーション」です。高台っ子はいつも一人じゃありません。地域の方々も保護者も、先生方も、いつも皆さんを見ています。ですから、皆さんも自分自身を、そして友達との「かかわりを大切に」して欲しいのです。具体的には、毎日体温を測って、マスクを付けていることや、相手と離れてお話しをすることは、お互いの健康や命を守るためです。

相手のことを考えて行動することが、仲よくする子の行動目標「高台っ子は、みんな仲よくし、いじめをなくします」にもつながります。

2学期も、高台っ子の皆さん自身が自分のことや友達との関係について考え、自分の学習や生活をコントロールしていく必要があります。

自分の心が安心できるかどうかを、自分の頭で考えて、自分と周りの人の体と健康や命を守ることがとても大切です。そのための具体的な行動に「あいさつ」があります。特に、一日の始まりの「朝のあいさつ」について、高台っ子一人一人が意識して2学期を過ごしてください。

最後になりますが、どんなことでも、困った時、困っている人を見つけた時には、誰でもよいですから、すぐに周りの人に相談してください。困っている時は、考えることよりも、まずは誰かに相談することです。分からないで心配するだけでは何も変わりません。

「あいさつ」も「相談」も、まずは自分からです。高台っ子が自分から進んで行動する2学期を目指しましょう。

